

2022年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年7月29日

上場会社名 愛知電機株式会社
 コード番号 6623 URL <http://www.aichidenki.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小林 和郎
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 横手 幸成
 四半期報告書提出予定日 2021年8月10日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 名
 TEL 0568-31-1111

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第1四半期の連結業績(2021年4月1日～2021年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第1四半期	20,074	24.1	1,344	78.6	1,604	72.3	1,090	72.2
2021年3月期第1四半期	16,178	△9.3	752	28.8	931	26.8	633	24.1

(注) 包括利益 2022年3月期第1四半期 1,610百万円 (253.3%) 2021年3月期第1四半期 455百万円 (0.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第1四半期	114.92	—
2021年3月期第1四半期	66.73	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第1四半期	95,575	58,641	60.1
2021年3月期	96,196	57,488	58.6

(参考) 自己資本 2022年3月期第1四半期 57,435百万円 2021年3月期 56,333百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	45.00	—	48.00	93.00
2022年3月期	—	—	—	—	—
2022年3月期(予想)	—	48.00	—	48.00	96.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	41,500	28.1	2,100	60.1	2,400	45.4	1,600	51.4	168.59
通期	84,000	11.1	4,400	5.3	5,000	5.2	3,400	1.9	358.26

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2022年3月期1Q	9,500,000 株	2021年3月期	9,500,000 株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2022年3月期1Q	9,662 株	2021年3月期	9,658 株
------------	---------	----------	---------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2022年3月期1Q	9,490,339 株	2021年3月期1Q	9,490,482 株
------------	-------------	------------	-------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想は、現時点で入手可能な情報及び仮定を前提としているため、実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響長期化により内需の低迷が続いているものの、海外経済の改善を背景に製造業の回復が進むなど、持直しの動きが続いています。当社グループにおきましては、材料価格の高騰などの影響を受けましたが、モータ関連やプリント配線板の需要が高水準で続いていることにより、事業環境は総じて良好に推移しました。

こうした状況の中、当社グループは「中期経営計画2023 ～確かな技術で未来をひらく～ 変革と挑戦」のもと、成長事業への重点投資と既存事業の競争力強化を進めております。電力機器事業では、トップランナー変圧器など一般産業向け製品の拡販、新エネルギー関連の市場開拓に努めるとともに、工場リニューアルやTPSかいぜん活動など、QCD（品質、コスト、納期）強化を進めております。回転機事業では、車載空調用ハーメティックモータやパッケージ基板用コアの生産能力増強の取組みを進めております。

連結業績につきましては、回転機事業が好調であったことにより、前年同期比で増収増益となりました。売上高は前年同期比24.1%増の200億7千4百万円、営業利益は78.6%増の13億4千4百万円、経常利益は72.3%増の16億4百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は72.2%増の10億9千万円となりました。

セグメント別の業績につきましては、以下のとおりです。

<電力機器事業>

売上高は前年同期比4.4%減の54億2千2百万円、セグメント利益は前年同期比4.7%増の6億4千4百万円となりました。売上高は、小型変圧器が増加しましたが、制御機器などが低調に推移し、減収となりました。セグメント利益については、販売機種構成の変化などにより増益となりました。

<回転機事業>

売上高は前年同期比39.4%増の146億5千1百万円、セグメント利益は前年同期比93.9%増の11億5千2百万円となりました。ハーメティックモータが自動車向け、建物向けともに伸びたことに加え、パッケージ基板用コアやアクチュエータも好調に推移したことにより、大幅な増収増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末と比べ6億2千1百万円減少し955億7千5百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末と比べ7億7千2百万円減少し643億6百万円となりました。これは主に、現金及び預金の減少15億8千9百万円、電子記録債権の増加7億2千7百万円、棚卸資産の増加21億4千7百万円、有価証券の減少10億円によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末と比べ1億5千1百万円増加し312億6千9百万円となりました。これは主に、有形固定資産の増加5億6千2百万円、投資その他の資産の減少4億2千4百万円によるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末と比べ17億7千4百万円減少し369億3千3百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末と比べ14億2千9百万円減少し280億8千7百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金の減少5億7千2百万円、電子記録債務の増加13億6千4百万円、未払費用の減少8千4百万円、賞与引当金の減少4億1千7百万円、未払法人税等の減少11億6千9百万円によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末と比べ3億4千4百万円減少し88億4千5百万円となりました。これは主に、長期借入金の減少1億7千2百万円、退職給付に係る負債の減少1億4千6百万円によるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末と比べ11億5千3百万円増加し586億4千1百万円となりました。これは主に、利益剰余金の増加6億3千4百万円、その他有価証券評価差額金の減少1億8千7百万円、為替換算調整勘定の増加6億3千8百万円によるものであります。

自己資本比率は、前連結会計年度末と比べ1.5%増加し60.1%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、第1四半期の業績と今後の見通しを踏まえ、2021年4月30日公表の連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日（2021年7月29日）公表いたしました「2022年3月期第2四半期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,094	16,504
受取手形及び売掛金	21,970	—
受取手形、売掛金及び契約資産	—	20,789
電子記録債権	7,436	8,163
有価証券	3,699	2,699
商品及び製品	4,664	5,156
仕掛品	3,154	3,865
原材料及び貯蔵品	4,670	5,614
その他	1,407	1,531
貸倒引当金	△18	△19
流動資産合計	65,078	64,306
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,122	7,238
機械装置及び運搬具（純額）	4,916	6,137
工具、器具及び備品（純額）	1,085	1,106
土地	4,054	4,054
リース資産（純額）	583	556
建設仮勘定	2,206	1,437
有形固定資産合計	19,968	20,531
無形固定資産		
投資その他の資産	368	382
投資有価証券	6,837	6,548
繰延税金資産	3,324	3,114
その他	912	987
貸倒引当金	△294	△294
投資その他の資産合計	10,780	10,355
固定資産合計	31,117	31,269
資産合計	96,196	95,575

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,037	8,464
電子記録債務	9,461	10,825
短期借入金	2,874	2,893
1年内返済予定の長期借入金	572	579
未払費用	2,754	2,670
未払法人税等	1,359	189
賞与引当金	873	456
その他	2,583	2,007
流動負債合計	29,516	28,087
固定負債		
長期借入金	2,670	2,498
繰延税金負債	184	190
退職給付に係る負債	5,683	5,537
その他	652	620
固定負債合計	9,190	8,845
負債合計	38,707	36,933
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,053	4,053
資本剰余金	1,957	1,957
利益剰余金	48,810	49,445
自己株式	△15	△15
株主資本合計	54,805	55,440
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,370	1,182
為替換算調整勘定	736	1,374
退職給付に係る調整累計額	△578	△562
その他の包括利益累計額合計	1,528	1,995
非支配株主持分	1,154	1,206
純資産合計	57,488	58,641
負債純資産合計	96,196	95,575

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)
売上高	16,178	20,074
売上原価	13,761	16,837
売上総利益	2,416	3,236
販売費及び一般管理費	1,663	1,892
営業利益	752	1,344
営業外収益		
受取利息	17	5
受取配当金	51	55
持分法による投資利益	36	2
為替差益	—	117
屑消耗品売却額	57	64
その他	50	43
営業外収益合計	212	288
営業外費用		
支払利息	18	17
為替差損	4	—
その他	10	11
営業外費用合計	33	28
経常利益	931	1,604
特別利益		
固定資産売却益	0	0
特別利益合計	0	0
特別損失		
固定資産売却損	—	2
固定資産除却損	2	6
投資有価証券評価損	16	—
特別損失合計	19	9
税金等調整前四半期純利益	912	1,595
法人税、住民税及び事業税	137	235
法人税等調整額	137	274
法人税等合計	274	510
四半期純利益	637	1,085
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	4	△4
親会社株主に帰属する四半期純利益	633	1,090

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)
四半期純利益	637	1,085
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	65	△187
為替換算調整勘定	△262	698
退職給付に係る調整額	11	16
持分法適用会社に対する持分相当額	2	△1
その他の包括利益合計	△181	525
四半期包括利益	455	1,610
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	472	1,557
非支配株主に係る四半期包括利益	△16	53

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

これにより、当社及び国内連結子会社は、従来は国内販売及び輸出販売について、主に出荷時に収益を認識していましたが、国内販売においては主に顧客により製品が検取された時又は顧客に製品が到着した時に、輸出販売においては主にインコタームズ等で定められた貿易条件に基づきリスク負担が顧客に移転した時に収益を認識することとしております。

また、有償支給取引において、従来は有償支給した原材料等について消滅を認識していましたが、当該取引において買い戻す義務を負っていることから、有償支給した原材料等について消滅を認識しないことといたしました。なお、当該取引において支給品の譲渡に係る収益は認識していません。

さらに、従来は請負工事に関して、進捗部分について成果の確実性が認められる工事については工事進行基準を、その他の工事については工事完成基準を適用していましたが、一定の期間にわたり充足される履行義務については、履行義務の充足に係る進捗度を見積り、当該進捗度に基づき収益を一定の期間にわたり認識する方法に変更しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、当第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。ただし、収益認識会計基準第86項に定める方法を適用し、当第1四半期連結会計期間の期首より前までに従前の取扱いに従ってほとんどすべての収益の額を認識した契約に、新たな会計方針を遡及適用していません。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は392百万円減少し、売上原価は300百万円減少し、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ91百万円減少しておりますが、利益剰余金の当期首残高に影響はありません。

収益認識会計基準等を適用したため、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」に表示していた「受取手形及び売掛金」は、当第1四半期連結会計期間より「受取手形、売掛金及び契約資産」に含めて表示することとしました。なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法による組替えを行っていません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		
	電力機器	回転機	計
売上高			
外部顧客への売上高	5,670	10,507	16,178
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	5,670	10,507	16,178
セグメント利益	615	594	1,210

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,210
全社費用(注)	△457
四半期連結損益計算書の営業利益	752

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		
	電力機器	回転機	計
売上高			
外部顧客への売上高	5,422	14,651	20,074
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	5,422	14,651	20,074
セグメント利益	644	1,152	1,797

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,797
全社費用(注)	△453
四半期連結損益計算書の営業利益	1,344

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。